

会議録

会議の名称	平成30年度第1回西東京市国民保護協議会
開催日時	平成31年2月7日（木）午後2時00分から午後2時45分まで
開催場所	西東京市防災センター5階 災害対策本部室
出席者	丸山会長、野田委員（代理：増野隊長）、藤原委員（代理：豊泉課長）、池澤委員、木村委員、山本（登）委員、佐藤委員、飯島委員、櫻井委員、坂本委員、松川委員、萩原委員、保谷委員（代理：飯島参与）、小関委員、萱野委員、湊委員、渡部委員、高橋委員（代理：外川委員）、東谷委員、菊池委員、笹島委員、宮本委員、徳永委員、指田委員、浅野委員、伊集院委員、村田委員（代理：池田事務局長）、井上委員 事務局：藤澤危機管理特命主幹、石川主査、賀陽主任 欠席委員：坂口委員、山下委員、山本（密）委員、太田委員、浅野委員、
議題	(1) 平成30年度西東京市国民保護訓練の実施について (2) その他
会議資料の名称	資料1 平成30年度西東京市国民保護訓練の実施について（案） 資料2－1 平成30年度西東京市国民保護訓練会場図 資料2－2 平成30年度西東京市国民保護訓練実施概要
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
○事務局 ただいまから平成30年度第1回西東京市国民保護協議会を開催いたします。 なお、本日所用のため、5名の委員が欠席です。 それでは、西東京市国民保護協議会会長の丸山市長より、ご挨拶申し上げます。 ○会長 《 挨拶 》 ○事務局 それでは本日の会議の進行でございますが、西東京市国民保護協議会条例第4条により、以後の進行は会長である市長をお願いいたします。 ○会長 「西東京市市民参加条例」第8条の規定により、会議は公開を原則としておりますの	

で、傍聴される方がいらっしゃれば、これを認めることといたします。
傍聴される方は、いらっしゃいますか。

○事務局

いらっしゃいません。

○会長

それでは、次第に基づき進行させていただきます。

なお、「西東京市市民参加条例」第9条の規定により、会議録を作成し、公開します。会議録は要点記録方式で作成しますのでご了承願います。

では、議題1「平成30年度西東京市国民保護訓練の実施について」事務局から説明願います。

○事務局

《 資料の説明 》

9. 11 同時多発テロ以降、各国におきまして、テロ対策の強化を図っているところでございますが、海外では、市民を巻き込んだ爆破テロ等の事件が発生を繰り返しております。2020 年開催の東京オリンピック、パラリンピックにおきましても競技会場並びにその周辺施設等におけるテロの危険性は排除できるものではなく、関係機関との連携強化を図る必要がございます。

そのような中、西東京市では、危機管理体制の整備は重要な施策と位置づけており、テロ等突発事案に素早く対応する体制の整備に向け「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」及び国民保護計画に基づき、関係機関と連携した実践的な対応訓練を実施しており、今年度は同時期に実施が予定されておりました東京消防庁における平成 30 年度方面救助救急訓練に関係機関の皆様と共に合流する形で実施します。訓練の目的といたしましては、危機管理対応、指揮命令系統、職員の行動要領等の確認及び構築を図ることを目的とします。

なお、今年度の訓練の実施日時は平成 31 年 2 月 12 日、火曜日、午前 10 時から 11 時まで。訓練会場は市内の多摩六都科学館で、会場案内図等につきましては資料 2－1 をご参考ください。

次に資料 2－2 をご覧ください。訓練の概要といたしまして、多摩六都科学館に要人が来館した際、テロリストによる襲撃を受け、在館者に多数の傷者が発生する状況を想定し、付近住民への広報活動、犯人の制圧検挙、在館者の避難誘導、多数傷者の救護活動を行います。

なお、資料 2－2 裏面にごございます救護活動におきましては、被害状況等につきましてブラインド方式にて、より実践的なトリアージ等の訓練を行う予定であります。本協議会におきまして、御審議をいただきました内容で、後ほど訓練の御案内をお配りいたしますので、ご見学いただける委員の皆様におかれましては、事前にご連絡をいただければと思います。

また、訓練当日の会場には建物内外にわたり広範囲で動きのある訓練を行う予定であります都合上、駐車場及び固定の観覧席をご用意することができない状況です。訓練会場におきます見学場所等につきましては資料 2 にも記載をさせていただいておりますが、詳細につきましては当日に御案内をさせていただきます予定でありますので、あらかじめ御了承いただき、ご来場を賜りますようお願い申し上げます。

○会長

田無警察署、西東京消防署から訓練につきまして、補足がございましたら、説明をお願いいたします。

○委員（警視庁田無警察署警備課長）

警護対象者がテロリストに襲撃された際の対応について想定されておりますが、素早く傷病者等を救うためにはどうすべきかということを主眼に実践的な訓練を考えております。

○委員（東京消防庁西東京消防署長）

テロリストの検挙後、東京消防庁及び東京DMA Tにより迅速なトリアージ、効率的な傷病者の搬送につきまして、検証を含め、訓練を実施したいと考えております。

○会長

自衛隊では、テロ災害に対する体制等をお持ちかと思いますが、本訓練につきましてご意見等はございますか。

○委員（陸上自衛隊第1 後方支援連隊衛生隊治療隊長）

自衛隊に要請が入る事案は、ある一定以上の規模の災害発生時になるかと思われますが、多くの機関が一同に活動する場合に活動実施機関同士がその場で瞬時に相互理解し合うということは困難があるものと思われます。このような訓練を通して、日頃から関係を深め、連携力を強化することは大切であると考えます。

○会長

ご意見、ご質問がないようなので、他に事務局からありますか。

○事務局

《 その他連絡事項 》

○各委員

《 各機関のテロ災害等に向けた取組みについて 》

○会長

以上をもちまして議事を終了させていただきます。スムーズな議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。